

# 宇都宮製作 創業120周年 高品質な医療品の安定供給に邁進

## 大西健路会長と大西浩太郎社長に聞く

### 1903(明治36)年に大阪・船場で創業

### 明治、大正、昭和、平成、そして令和と駆け抜けた120年

宇都宮製作の前身の宇都宮商店が大阪・船場に創業したのは、1903(明治36)年のことだ。そこから今年で120年目を迎えることになる。明治、大正、昭和、平成、そして令和と。同社は、それぞれの時代に対応しながら、その間一貫して高品質な医療品を世の中に送り届け続けてきた。今回、宇都宮製作創業120年の節目にあたって、大西健路会長、大西浩太郎社長に話を聞いた。

### 「会社の舵取りを考える良い機会」(大西)

創業120周年を迎えていくのか、それを考える強く感じているところだ。また、今年は十二支で「癸卯」です。「癸卯」の年は、これまでの努力が結果し、次の飛躍へとスタートを切る年だと言われています。創業の年と60周年目、そして今年「癸卯」を迎える巡りあわせに大きな意味を感じます。ぜひ、この創業120周年を将来に向かって「癸卯」を始める契機にしたいと思えます。10年前の創業110周年の時には、大西会長、大西社長らで創業者・宇都宮宇作氏の故郷である愛媛県西予市を訪ねられました。



大西会長「今回は私と創業者の孫に当たる私の妻と西予市を訪問しました。これまでも周年記念の10年ごとに訪問して寄付などを行ってきましたが、今回は企業版ふるさと納税制度に則って120万円を提供しました。宇都宮宇作は、15歳の時に愛媛から上阪し、

20歳で当社を興していきなす。そうしたことには思いを馳せると非常に感慨深い気持ちになります。今後も創業者の故郷との縁はこれからの大切なことだと思っています。その大切さは今の当社にとっても全く変わりません。多くの製品開発を行い、それを世に送り出したと聞き、そのためにしっかりと

大西会長「当社は、創業会社の足元を固め、当たり者のこうした姿勢を基に、独自の商品を開発していきなす。社員にも話をしています」

### 「当たり前前」のことを「当たり前前」にやる(大西)

「コロナ禍には、安定供給ではないでしょうか？」



大西社長「苦労の連続で、商品を提供する機会も減りました。しかし、やはり協力を定供給するメーカーとの間に長年にわたって構築してきた信頼関係が、この大変な時期に支えられています。120年の歴史が社会貢献に直結していることを理解しています。大きな瑕疵もなく、コロナ禍中の激動を乗り越えた今、改めて当社の存在意義を再認識し、それを今後より磨いていきたいと考えています」



大西健路会長「創業120周年に邁進するのみならず、未来の発展に繋がっていくと信じています」

大西浩太郎社長「この活動の意図は何でしょうか？」

大西社長「先ほども触れたように、当社の存在意義は高品質の商品を市場に安定供給することです。そのため日々、足元を固めておかないといけません。大西社長として、当社が将来にわたって事業を継続していくためには、『温故知新』という言葉を交えて『これまでの伝統を受け継ぎながら、新しい『ウツノミヤ宣言』をはじめとした活動は、当社が未来を迎えられるようになるための準備作業だということです。環境問題や社員の健康、人権など、それらに対して意識を向け、整理しておく。そうすることによって、当社の発展に向けた活動がスムーズに行うことができるようになります」

### 創業150周年、200周年に向け、意欲

創業120周年は大きな節目である反面、未来への通達点とも言えます。今、任した頃(1990年)の姿を思い出しながら、創業150周年、創業200周年に向けての思い、社長の意欲を語りました。そこで社長、組織から社屋、商品構成、果

では会社のマークや社屋・通経路などが大きく変化することでしょう。当社には、それらに配慮できる企業力があるように期待しています。大西社長「創業120周年を迎えることができた当身ではいけません。自社や業界団体などの各方面で、約束されている訳では決

## 人と環境の未来をまもる ウツノミヤ宣言

私たちは考えました。社会のために、持続可能な何ができるのだろうか？ 次の世代、未来を生きる子どもたちのために、できることって何だろうか？

詳しくは



Since 1903 宇都宮製作株式会社 Utsunomiya Seisaku Co., Ltd.

https://www.u-seisaku.co.jp/